

1 貧困をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



大阪でSDGsアクションに取り組む人を後押しする

OSAKA SDGs データブック

16 平和と公正をすべての人に



© 通天閣

CONTENTS

はじめに	2
データから探す	3
ゴールから探す	4
コラム:Osaka ^{wara} “笑”Indicator? —「笑い」がSDGsにつながる?—	13
大阪府におけるSDGsの取組み	14
ターゲット一覧	15

2026年3月発行

本書のねらい

SDGsの目標年である2030年に向け、大阪府においても、多くの府民や企業、団体の皆さまによるSDGsアクションが活発に行われています。一方で、世界に目を向けると、SDGsの169のターゲットのうち、現時点で進捗が順調なのは18%となっています。(※) こうした状況も踏まえ、このたび、SDGs達成に向けて大きな役割を果たす企業・団体の皆さまによる取組みを促進し、府域のSDGsアクションを加速していくため、本書を作成しました。

本書で取り上げたデータや企業の取組事例は、皆さまに大阪府の現状をお伝えするとともに、例えば、経営戦略にSDGsを据える際や新たな地域課題の解決に取り組む際のヒントになると考えています。本書が、皆さまの取組みの後押しになることを期待しています。

(※)「持続可能な開発目標報告 2025 (The Sustainable Development Goals Report 2025)」による

本書の使い方

本書は、はじめから順を追って読んでいただいても、あなたの知りたい事や興味・関心に応じて読むページや順番を変えていただいても構いません。以下を参考に、あなたの興味のある切り口から、本書を活用してください。



こんな方にオススメ

- ▶ 既に実施しているSDGsの取組みの進捗状況や達成度を知りたい
- ▶ 企業や団体の活動に関連するデータを集めたい

指標一覧から、気になった
指標・データを確認する

興味のあるゴール・課題や自社の業種から
指標・データを確認する --- P3へ進む



こんな方にオススメ

- ▶ 企業理念や事業活動の内容に基づいて取り組むべきゴールが決まっている

17のゴールと関連する指標・データを確認する P4へ進む

169のターゲットに直接関連する指標・
データを確認する P15へ進む

SDGsが企業にとってなぜ必要か

企業が持続的に成長し、発展していくためには、長期的な視点で社会のニーズを考慮した経営が不可欠です。長期的な経営リスクや社会環境への悪影響を回避しつつ、新たなビジネスチャンスを獲得するための一つの考え方やツールとして、SDGsの活用が注目されています。



データから探す

本書に収録されているデータの一覧と、それに関連するゴール及び業種を示します。各データは、SDGs達成度評価指標から選定しています。

No	SDGs 達成度評価指標	方向*	関連するSDGs	特に意識すべき事業	ページ
1	相対的貧困率 (%)	-	1 2 10	医療・福祉、公共	4
2	生活保護受給世帯率 (%)	-	1	医療・福祉、公共	4
3	人口10万人当たりホームレス数 (人)	-	1	医療・福祉、公共	4
4	人口10万人当たり栄養失調による死亡者数 (人)	-	2	農林水産、医療・福祉、公共	4
5	栄養状態が不良な子どもの割合 (%)	-	2	農林水産、医療・福祉、公共	4
6	人口1人当たり農業・漁業産出額 (万円/人)	+	2	農林水産、公共	4
7	人口千人当たり若年死亡者数 (人)	-	3	医療・福祉、公共	5
8	健康寿命 (歳)	+	3	サービス、医療・福祉、公共	5
9	人口1万人当たり交通事故による死亡者数 (人)	-	3	運輸・情報通信、公共	5
10	保育園・幼稚園待機児童率 (%)	-	4	医療・福祉、教育、公共	5
11	中学校卒業者の進学率 (%)	+	4	教育、公共	5
12	学力調査の平均正答率 (%)	+	4	教育、公共	5
13	女性千人当たり性犯罪の認知件数 (件)	-	5	公共	6
14	家事従事者に関するジェンダーパリティ指数 (-)	N	5	サービス、教育、公共	6
15	管理的職業のジェンダーパリティ指数 (-)	N	5 10	【全業種】	6
16	水道普及率 (%)	+	6 1 11	公共	6
17	汚水処理人口普及率 (%)	+	6	公共	6
18	人口1人当たり生活用水使用量 (m ³ /人)	-	6	サービス、公共	6
19	電気を受電可能な人口比率 (%)	+	7	電気・ガス、公共	7
20	人口1人当たり再生可能エネルギー導入容量 (kW)	+	7	電気・ガス、不動産、サービス	7
21	最終エネルギー消費量当たり域内総生産 (百万円/TJ)	+	7	農林水産、製造、電気・ガス、商業	7
22	人口1人当たり域内総生産の伸び率 (%)	+	8	農林水産、製造、商業	7
23	失業率 (%)	-	8	【全業種】	7
24	就労、就学及び職業訓練のいずれも行っていない15~24歳人口の割合 (%)	-	8	医療・福祉、教育、公共	7
25	従業者1人当たり製造品付加価値額 (百万円/人)	+	9	製造	8
26	付加価値額百万円当たりCO ₂ 排出量 (tCO ₂ /百万円)	-	9 8	製造、商業、不動産、サービス	8
27	人口10万人当たり特許出願数 (百件)	+	9	製造、サービス、教育	8
28	世帯所得300万円未満の世帯の割合の減少率 (%)	+	10	医療・福祉、公共	8
29	労働分配率 (%)	+	10	製造、商業、不動産、サービス	8
30	外国人労働者の失業率 (%)	-	10 8	【全業種】	8
31	最低居住面積水準未満の住宅に住む人口の割合 (%)	-	11	建設、不動産、公共	9
32	公共交通カバレッジ率 (%)	+	11	建設、運輸・情報通信、公共	9
33	SPM濃度 (μg/m ³)	-	11	建設、運輸・情報通信、公共	9
34	域内総生産当たり事業系ごみの排出量 (t/万円)	-	12	建設、製造、商業、サービス	9
35	有害廃棄物の処理率 (%)	+	12	建設、製造、商業、サービス	9
36	リサイクル率 (%)	+	12	【全業種】	9
37	人口10万人当たり水災害危険地域の居住者数 (万人)	-	13	建設、金融・保険、不動産、公共	10
38	人口10万人当たり熱中症搬送者数 (人)	-	13	【全業種】	10
39	人口1人当たりCO ₂ 排出量 (tCO ₂ /人)	-	13	【全業種】	10
40	河川BOD (mg/L)	-	14 6	農林水産、建設、製造、公共	10
41	漁獲物・収獲物の販売金額変化率 (-)	+	14	農林水産	10
42	人口10万人当たり漁業関連法令違反の検挙件数 (件)	-	14	農林水産、公共	10
43	森林面積の変化率 (2010年を1)	+	15	農林水産、不動産、公共	11
44	人口10万人あたり動植物の密猟及び違法取引件数 (件)	-	15	農林水産、サービス、公共	11
45	定着が確認された特定外来生物種数 (種)	-	15	農林水産、サービス、公共	11
46	人口10万人当たり殺人事件の認知件数 (件)	-	16	公共	11
47	小学生千人当たり児童虐待相談件数 (件)	-	16	医療・福祉、公共	11
48	選挙投票率 (%)	+	16	公共	11
49	財政力指数 (-)	+	17 10	公共	12
50	SDGs推進率 (%)	+	17	【全業種】	12
51	人口10万人当たり姉妹都市数 (都市)	+	17	公共	12

※ゴールの達成に向けて増加を目指すものを「+」、減少を目指すものを「-」で示しています。



Osaka “笑” Indicator? - 「笑い」がSDGsにつながる? -	特に意識すべき事業	ページ
「笑い」と主観的幸福感等に関する評価	【全業種】	13

SDGs達成度評価指標とは?

本書で使用される様々な達成度指標は、国際連合地域開発センター (UNCRD) をはじめとした『地方自治体SDGs達成度評価』編集委員会が2023年9月に公開したレポート「2030年までの道筋：地方自治体SDGs達成度評価2023」で開発された「SDGs達成度指標」に基づき指標を選定しています。

はじめに

データから探す

ゴールから探す

Osaka “笑” Indicator? 「笑い」がSDGsにつながる?

大阪府におけるSDGsの取り組み

ターゲット一覧

各ゴールのデータは「地方自治体SDGs達成度評価DATA BOOK2015-2024」に基づいており、大阪府が作成する各種計画の指標とは出典が異なる場合がございます。また統計データによっては更新頻度等の違いにより、各年次時点の最新年を使用しています。

1 貧困をなくそう



1 貧困をなくそう

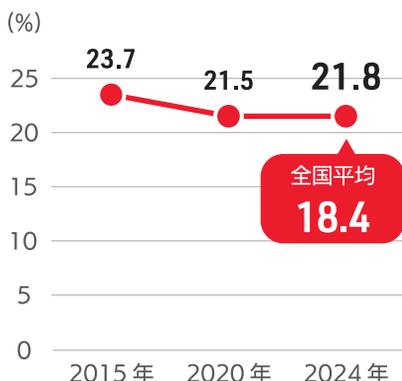
ゴール1は貧困に関する目標です。貧困は途上国だけの問題ではなく、先進国においても、経済格差の拡大や、教育、医療、インフラなど必要なサービスの提供が不足するなど、重要な問題です。

相対的貧困率(%)

関連するターゲット

1.1 1.2 1.a 1.b
2.1 10.2 10.3

世帯所得200万円未満の世帯の、全世界に対する割合を示しています。



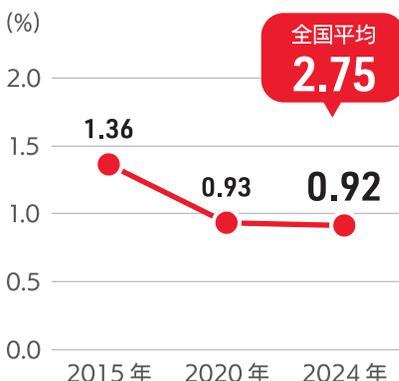
※ 本指標は出典となる統計データが5年ごとであるため次の更新に注意が必要です

生活保護受給世帯率(%)

関連するターゲット

1.2 1.3 1.a

全世界に対する、生活保護の被保護世帯の割合です。

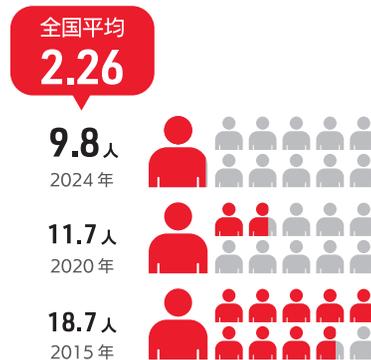


人口10万人当たりホームレス数(人)

関連するターゲット

1.3 1.4 1.a 1.b

都市公園、河川、道路、駅舎、その他の施設を故なく起居の場所とし、日常生活を営んでいる方の割合を示しています。



2 飢餓をゼロに



2 飢餓をゼロに

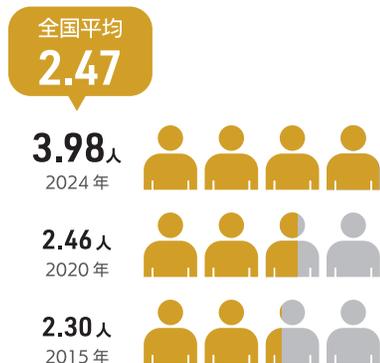
ゴール2は栄養不良だけでなく食料生産も含めた課題を示しています。日本においては、農業の持続可能性や食料生産が重要であるほか、子どもの栄養不良なども重要な社会課題です。

人口10万人当たり栄養失調による死亡者数(人)

関連するターゲット

2.1 2.2

「栄養失調」には、食糧の不足だけでなく、高齢者の消化吸収能力の低下や摂食障害などが含まれています。



栄養状態が不良な子どもの割合(%)

関連するターゲット

2.2

「栄養状態が不良」とは、特定の栄養が不足している場合や栄養過多の状態も含まれています。



人口1人当たり農業・漁業産出額(万円/人)

関連するターゲット

2.3 2.4 2.5 2.a
2.b 2.c

その地域の農業・漁業産出額を人口で除した指標です。1人当たりの食料生産額を示しています。



3 すべての人に健康と福祉を



3 すべての人に健康と福祉を

ゴール3は健康や安全等に関する目標です。個人のライフスタイルの改善だけではなく、医療へのアクセスや所得格差など背景にある社会課題への取組みがあわせて必要です。

人口千人当たり若年死亡者数(人)

関連するターゲット **3.1 3.3 3.4 3.5 3.6 3.8 3.9 3.a 3.b 3.c 3.d**

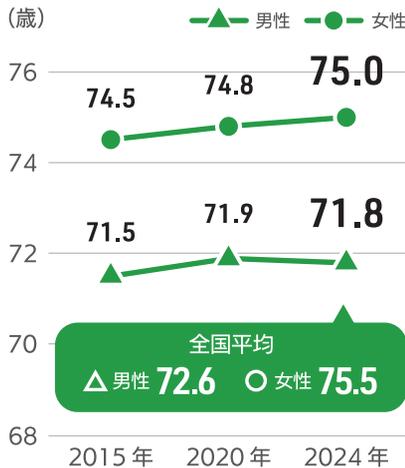
30～69歳の人を「若年」と定義し、全人口に対する、高齢になる前に何らかの理由で死亡した方の割合を示しています。(若年の定義はSDSNによる)



健康寿命(歳)

関連するターゲット **3.1 3.2 3.3 3.4 3.5 3.6 3.8 3.9 3.a 3.b 3.c 3.d**

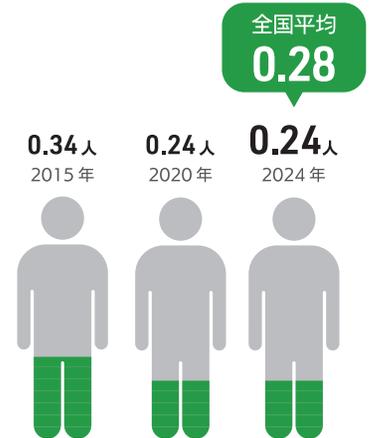
健康寿命とは、日常生活に制限のない程度で生活することが可能な生存期間を示す指標です。



人口1万人当たり交通事故による死亡者数(人)

関連するターゲット **3.6**

人口あたりの交通事故による死亡者数であり、死亡に至るような交通事故への遭遇リスクを示しています。



ゴールから探す

3 すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに

4 質の高い教育をみんなに



4 質の高い教育をみんなに

ゴール4は教育等に関する目標で、幼児教育から高等教育まで幅広い年代が対象です。児童の就学率に世帯の貧困が影響するなど、教育は子育て世代のみならず社会全体の問題です。

保育園・幼稚園待機児童率(%)

関連するターゲット **4.1 4.2 4.a**

待機児童数を申込児童数で除した値です。保育園や幼稚園に入りたくても入れない児童の割合を示しています。



中学校卒業者の進学率(%)

関連するターゲット **4.3 4.4 4.6 4.7 4.b**

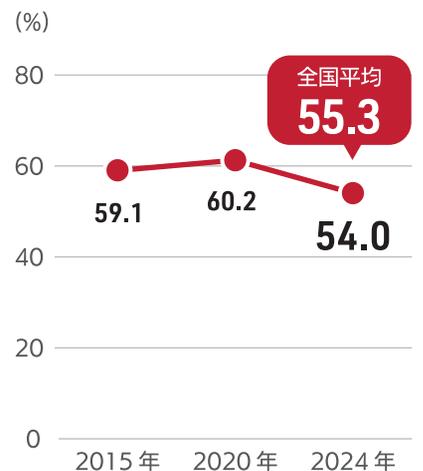
中学校卒業後に高等学校や高等専門学校等に進学した生徒の割合を示しています。



学力調査の平均正答率(%)

関連するターゲット **4.6 4.7**

中学生の学力調査における全教科平均の正答率を示しています。毎年の試験難易度も変動するため、参考データであることに留意してください。





5 ジェンダー平等を実現しよう

ゴール5はジェンダーに関する目標です。世界の諸外国に比べて日本は低い順位にあり、特に収入や管理職比率など男女の経済的な格差が大きいことが要因とされています。

女性千人当たり性犯罪の認知件数(件)

関連するターゲット **5.2 5.3 5.6 5.c**

女性人口当たりの警察等捜査機関によって性犯罪の発生が認知された件数で、犯罪への遭いやすさを示しています。



家事従事者に関するジェンダーパリティ指数(-)

関連するターゲット **5.1 5.4 5.a 5.b 5.c**

この指数は、家事従事者が少ないほう(男性)を多いほう(女性)で割った値であり、1に近いほど平等、0に近いほど不平等を示しています。



管理的職業のジェンダーパリティ指数(-)

関連するターゲット **5.1 5.5 5.a 5.b 5.c 10.3**

この指数は、管理的職業が少ないほう(女性)を多いほう(男性)で割った値であり、1に近いほど平等、0に近いほど不平等を示しています。



ゴールから探す
5 ジェンダー平等を実現しよう
6 安全な水とトイレを世界中に



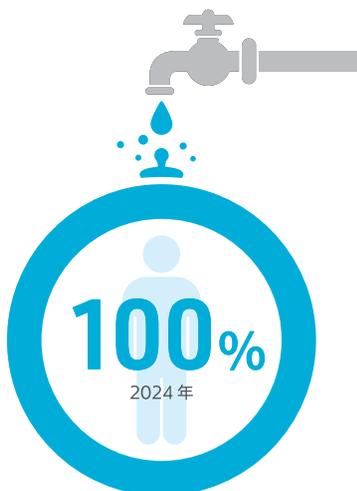
6 安全な水とトイレを世界中に

ゴール6は水と衛生に関する目標です。飲料水と衛生設備は世界の深刻な問題であり、新製品の開発や技術支援など企業の立場からもできることがあります。

水道普及率(%)

関連するターゲット **6.1 1.4 11.1**

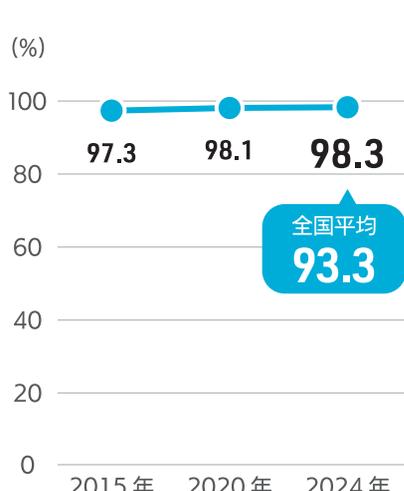
水道普及率は上水道を使用できる人口の割合を示しています。日本ではほぼ全世界に近い世帯で上水道利用が可能です。



汚水処理人口普及率(%)

関連するターゲット **6.2 6.a 1.4**

下水道、農業集落排水施設等、浄化槽等のいずれかの施設と接続している人口の割合を示します。



人口1人当たり生活用水使用量(m³/人)

関連するターゲット **6.4 6.5 6.6 6.a**

1人当たりの生活用水使用量であり、その地域で生活している人が1年間で使用している水の量を示しています。





7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに

ゴール7は再生可能エネルギー等に関する目標です。また、日本は世界的に見てもエネルギー自給率が低く、「経済」と「環境」の好循環の創出には企業の挑戦的な技術改革等が必要不可欠です。

電気を受電可能な人口比率(%)

関連するターゲット **7.1 7.b 1.4**

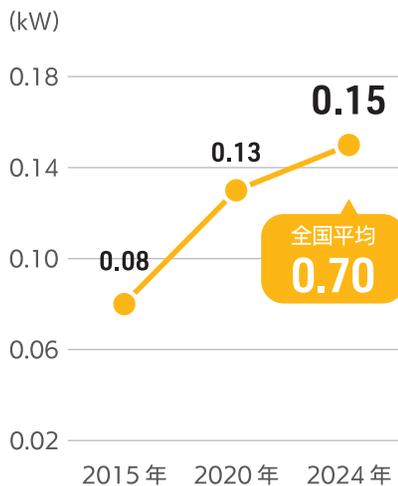
電気を受電可能な人口の割合を示しています。日本全体で100%であると仮定*しており、年次による変動はありません。
*Global Tracking Framework (世界銀行)



人口1人当たり再生可能エネルギー導入容量(kW)

関連するターゲット **7.2 7.a**

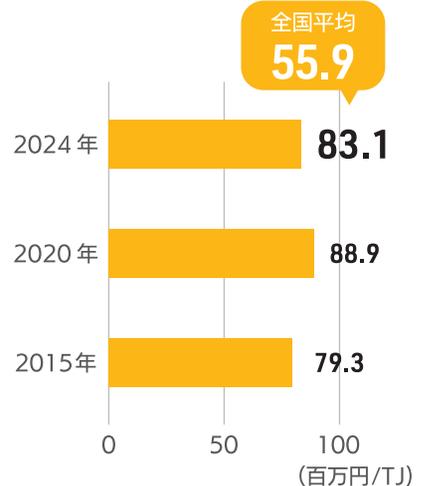
その地域に設置されている太陽光発電や風力発電をはじめとした再生可能エネルギーの発電容量を示しています。



最終エネルギー消費量当たり域内総生産(百万円/TJ)

関連するターゲット **7.2 7.3 7.a**

エネルギー1単位(TJ:テラジュール)当たりで生み出せるその地域の総生産を示しています。経済活動のエネルギー生産効率を表しています。



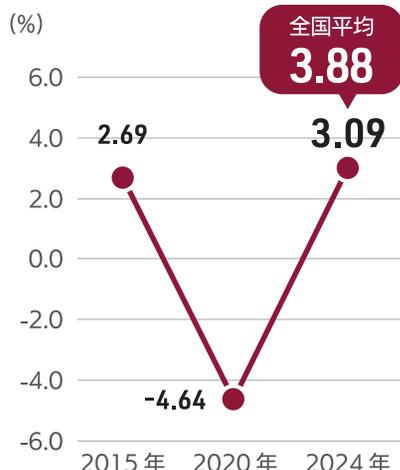
8 働きがいも 経済成長も

ゴール8は経済成長と雇用等に関する目標です。ワークライフバランスやイノベーションなど企業にとっても身近なテーマとなっています。ここでの指標を参考に自社のデータを収集してみるのもよいでしょう。

人口1人当たり域内総生産の伸び率(%)

関連するターゲット **8.1 8.2 8.3 8.9 8.10**

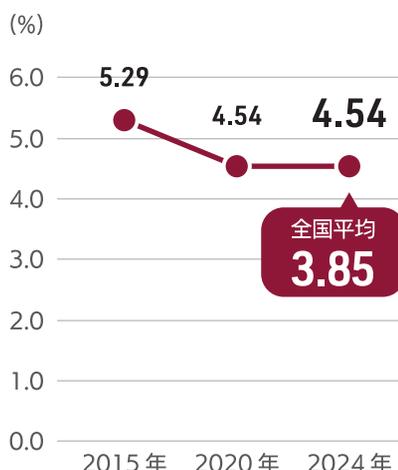
人口当たりの地域内の総生産(農業生産額や製造品出荷額、商品販売額などの合計)の毎年の伸び率を示した指標です。



失業率(%)

関連するターゲット **8.3 8.5 8.9**

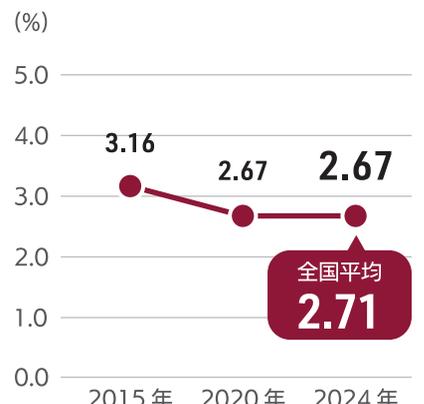
15歳以上で働く意思のある労働力人口に対する失業者数の割合です。地域の雇用や景気状況を示しています。



就労、就学及び職業訓練のいずれも行っていない15~24歳人口の割合(%)

関連するターゲット **8.6 8.7 8.9**

いわゆるニートの割合を示しており、若年層の雇用機会や教育機会の不足を表しています。日本ではニートの定義は34歳以下ですが、本指標ではSDGsの基準に合わせています。





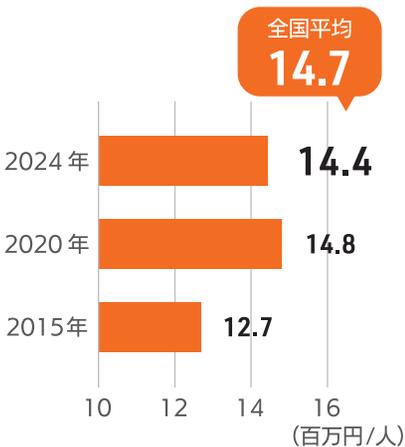
9 産業と技術革新の基盤をつくろう

ゴール9は付加価値額や特許など技術革新に関する目標です。企業の市場価値や技術革新の測定に有用な指標が多く、従業員数とあわせて検討すれば労働生産性を評価する指標にもなります。

従業員1人当たり製造品付加価値額 (百万円/人)

関連するターゲット **9.2 9.3 9.5 9.b 9.c**

付加価値額とは、収入から費用総額を除いたもので、製造業において従業員1人あたりが生み出す価値を示します。



付加価値額百万円当たりCO₂排出量 (tCO₂/百万円)

関連するターゲット **9.1 9.4 9.5 9.a 9.b 9.c 8.4**

付加価値額百万円を生み出す過程におけるCO₂排出量であり、経済活動の環境効率を示しています。



人口10万人当たり特許出願数 (百件)

関連するターゲット **9.5 9.b 9.c**

人口当たりの特許出願数を示しており、その地域でのイノベーションの起きやすさを示した指標です。



ゴールから探す

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



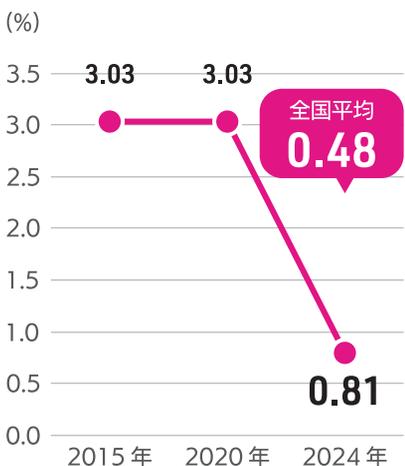
10 人や国の不平等をなくそう

ゴール10は所得や雇用の公平性に関する目標です。国や地域における格差は正だけでなく、立場や性別、人種等を理由とする差別を無くしていく必要があります。

世帯所得300万円未満の世帯の割合の減少率 (%)

関連するターゲット **10.1**

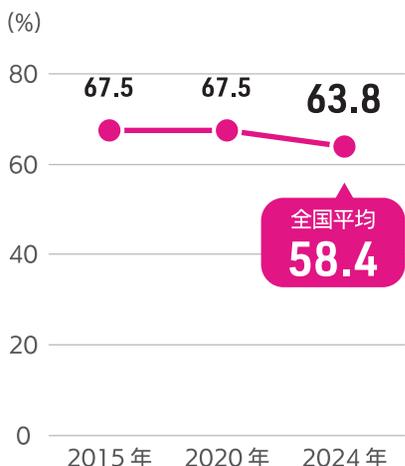
所得階層の低い世帯の割合の減少率です。所得格差の不平等の改善の程度を示しています。



労働分配率 (%)

関連するターゲット **10.3 10.4**

企業が生み出した付加価値額のうち、どれだけが労働者に分配されているかを表しています。



外国人労働者の失業率 (%)

関連するターゲット **10.7 8.8**

失業率のうち、外国人労働者に焦点を当てた指標です。ゴール8の日本全体での失業率の比較も重要となります。



10 人や国の不平等をなくそう

11 住み続けられるまちづくりを



11 住み続けられるまちづくりを

ゴール11は住宅や居住環境についての目標です。住宅供給や交通アクセス等の課題解決とあわせて、ライフスタイルや価値観の変化に対応した持続可能なまちづくりが重要です。

最低居住面積水準未達の住宅に住む人口の割合(%)

関連するターゲット **11.1 11.3 11.c**

最低居住面積水準とは、国が示す、世帯人数に応じた、健康で文化的な住生活を送るための最低面積です。



公共交通カバー率(%)

関連するターゲット **11.2 11.a**

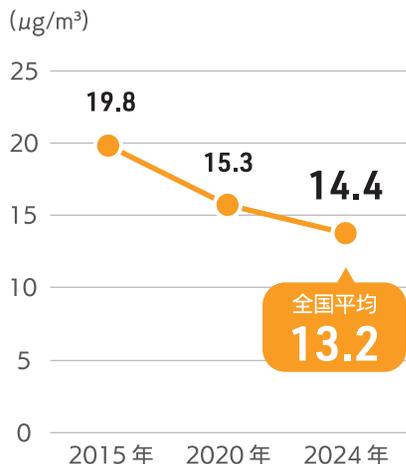
鉄道駅から800m以内、またはバス停から300m以内に住んでいる人口の割合を示しています。



SPM濃度(μg/m³)

関連するターゲット **11.6**

大気中に含んでいる浮遊粒子状物質(SPM)の濃度であり、大気汚染の評価基準の1つです。



ゴールから探す

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任 つかう責任

12 つくる責任 つかう責任



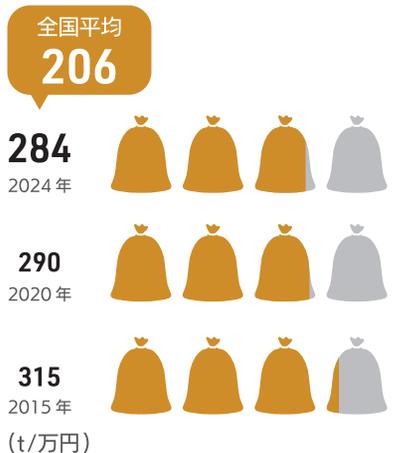
12 つくる責任 つかう責任

ゴール12は廃棄物等に関する目標です。日本は先進諸国に比べてごみのリサイクル率が低く、計算方法やごみの処理方法等の違いはありますが、資源循環についてより一層意識を高めていく必要があります。

域内総生産当たり事業系ごみの排出量(t/万円)

関連するターゲット **12.2 12.3 12.6 12.a**

総生産あたりに生じる事業系ごみの排出量であり、経済活動の環境効率を表す指標の1つです。



有害廃棄物の処理率(%)

関連するターゲット **12.3 12.4 12.5 12.6**

有害ごみや危険ごみ等で収集されるもの(その他のごみ)のうち、直接埋め立て以外の方法で処理されたごみの割合を示しています。



リサイクル率(%)

関連するターゲット **12.6 12.7 12.8**

ごみの搬入量のうち、資源化し原料や燃料などで再利用されたごみの割合を示しています。





13 気候変動に具体的な対策を

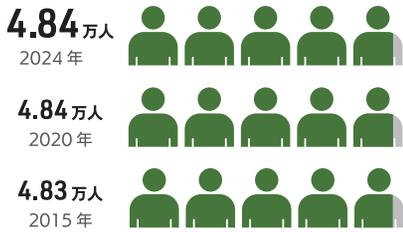
ゴール13は気候変動の「緩和」と「適応」の両方に関する目標です。原因となるCO₂削減に取り組みながら、気候変動への適応を機会と捉え、製品やサービス等に展開していくことも企業の役割といえます。

人口10万人当たり水災害危険地域の居住者数(万人)

関連するターゲット **13.1** **13.3** **1.5** **11.5**
11.b **11.c**

国や地方自治体が発表している洪水浸水想定区域内に住む人口の割合を示しています。

全国平均
4.29

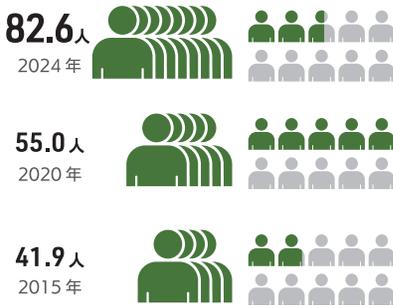


人口10万人当たり熱中症搬送者数(人)

関連するターゲット **13.1** **13.3**

毎年概ね5月から9月の間に、熱中症により救急搬送された患者数の割合を示しています。

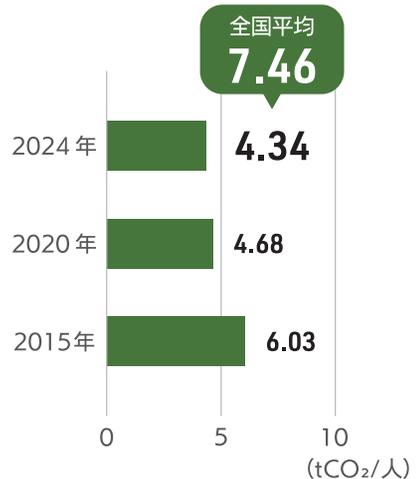
全国平均
78.1



人口1人当たりCO₂排出量(tCO₂/人)

関連するターゲット **13.2** **13.3**

その地域の産業や家庭、交通などすべての分野で排出されるCO₂排出量を総人口で除した値です。



14 海の豊かさを守ろう

ゴール14は海洋資源等に関する目標です。海洋汚染の防止等の保全対策に加えて、適切な資源管理等が生態系の回復、ひいては漁業の持続可能性の向上に繋がります。

河川BOD(mg/L)

関連するターゲット **14.1** **14.3** **6.3** **6.6**
6.b

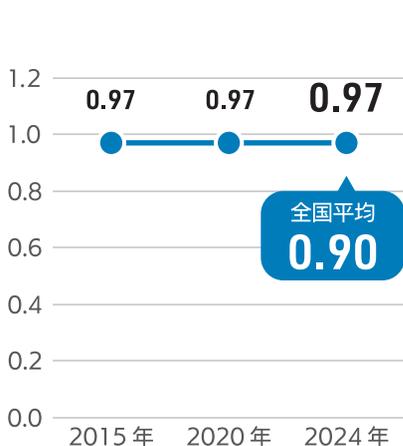
BODとは、生物化学的酸素要求量のことです。値が大きいほど、河川の自浄作用や魚類をはじめとする水生生物の環境が悪化します。



漁獲物・収穫物の販売金額変化率(-)

関連するターゲット **14.2** **14.4** **14.5** **14.7**
14.b **14.c**

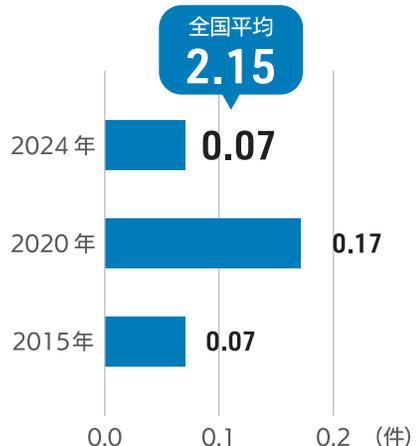
漁獲物や収穫物の年毎の変化を示すものであり、1を下回ると、漁獲量や産業基盤、資源量が低下していることを示しています。



人口10万人当たり漁業関連法令違反の検挙件数(件)

関連するターゲット **14.5** **14.6** **14.c**

本指標は人口10万人当たりの漁業関連法令違反(密漁)の件数を表しており、資源管理の適切性を測る指標です。



15 陸の豊かさも守ろう



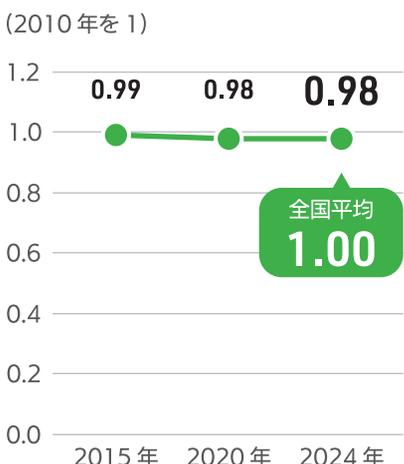
15 陸の豊かさも守ろう

ゴール15は森林と陸域生態系に関するデータです。直接的に影響を及ぼす範囲のみならず、FSC®認証製品の調達など、事業活動を通じて持続可能な森林経営への貢献を目指していく必要があります。

森林面積の変化率(2010年を1)

関連するターゲット **15.1 15.2 15.3 15.4 15.a 15.b 11.3 11.4 11.7**

2010年からの森林面積の変化を示したものです。もともと森林面積の小さい地域では減少しにくい点に留意が必要です。



人口10万人あたり動植物の密猟及び違法取引件数(件)

関連するターゲット **15.6 15.7 15.9 15.c**

動植物の密漁や違法取引の件数であり、生物の適正な管理と保護の程度を示しています。



定着が確認された特定外来生物種数(種)

関連するターゲット **15.4 15.5 15.8 15.9 15.a 15.c**

その地域で定着が確認された外来生物種数を示しています。外来種による地域の生態系の影響リスクを示しています。(府内の市町村平均値を使用)



ゴールから探す

15 陸の豊かさも守ろう

16 平和と公正をすべての人に

16 平和と公正をすべての人に



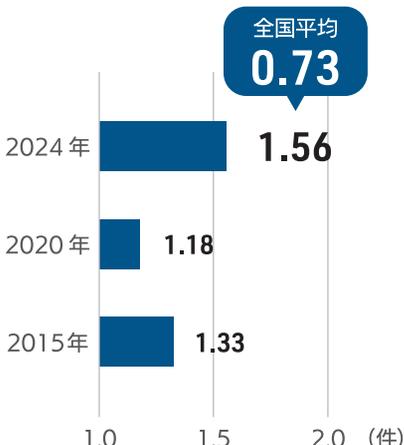
16 平和と公正をすべての人に

ゴール16は治安や公正に関する目標です。国や地域の平和の維持のみならず、関連するターゲットにも注目すると、児童虐待や汚職撤廃など必要な対策や取組みが見えてきます。

人口10万人当たり殺人事件の認知件数(件)

関連するターゲット **16.1 16.3 16.4 16.5**

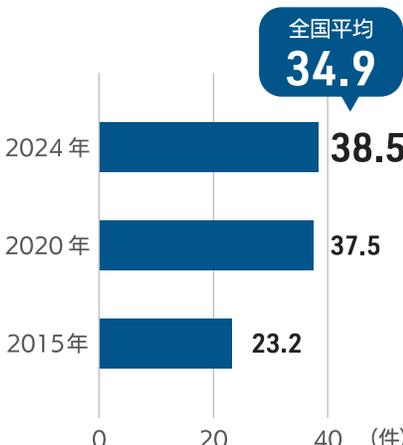
警察等捜査機関によって発生が認知された殺人事件の認知件数であり、地域の安全性を示す指標の1つです。



小学生千人当たり児童虐待相談件数(件)

関連するターゲット **16.2 16.3**

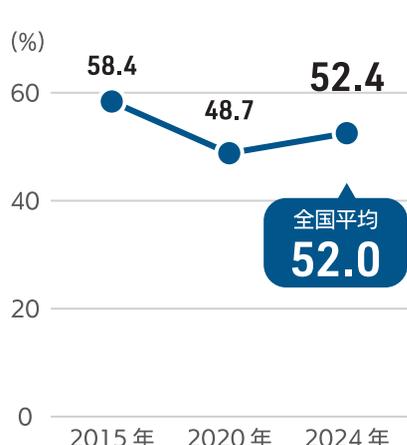
児童相談所への相談件数です。全国的に増加傾向にあります。通報しやすさの向上など、社会環境の正の変化もあることに留意が必要です。



選挙投票率(%)

関連するターゲット **16.5 16.6 16.7 16.8 16.9 16.10 16.a 16.b**

各年の直近の衆議院議員及び参議院議員選挙の投票率を示しています。投票率が高いほど、市民や地域の政治参加の意欲が高いことを表しています。





17 パートナーシップで目標を達成しよう

ゴール17はあらゆる主体や国、地域でのSDGs推進に向けたパートナーシップに関するデータです。パートナーシップの強化により、SDGsだけでなく様々な社会課題や地域課題の解決が求められます。

財政力指数(-)

関連するターゲット

17.1 10.5

財政力指数は、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た値で、地方自治体の財政力を表しています。



SDGs推進率(%)

関連するターゲット

17.14 17.16 17.17

内閣府による全国自治体アンケートの結果をもとにした、取組項目の多さを示しています。



人口10万人当たり姉妹都市数(都市)

関連するターゲット

17.16 17.17

国内外の自治体間におけるパートナーシップを可視化する指標として、姉妹都市の数を指標としています。



ゴールから探す

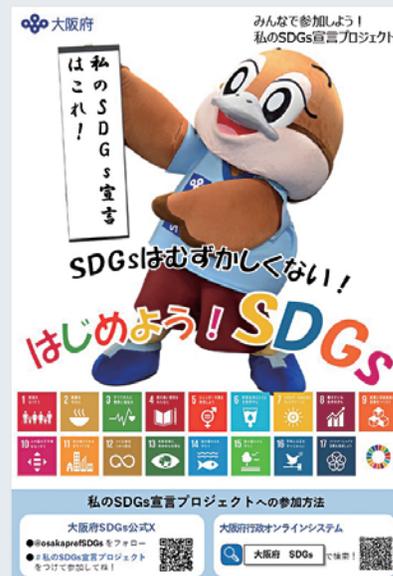
17 パートナーシップで目標を達成しよう

みんなで参加しよう!

私のSDGs宣言プロジェクト

SDGs達成のためには、私たち一人ひとりが「自分事」として考え、具体的に行動することが不可欠です。持続可能な開発目標という、壮大で難しく「自分には関係ない」、「できない」と感じるかもしれませんが、私たちの日々の生活の中にもSDGsの達成につながる身近な行動や取組みがたくさんあります。

「私のSDGs宣言プロジェクト」は、府民や府内企業・団体などあらゆるステークホルダーの皆さんに、自らが行うSDGsの達成に向けた行動を宣言していただくものです。皆さんから寄せられた宣言は、大阪府ホームページ等で紹介し、多くの人々に共有されています。SDGsは、私たち一人ひとりの意識と行動から始まります。皆さんが取り組むSDGsアクションをぜひ宣言し、共に持続可能な未来を築いていきましょう。



私のSDGs宣言プロジェクト▶



本書では、SDGsに関連する様々なデータを取り上げていますが、客観的な数値だけでは捉えきれない人々の生活の質や幸福感といった主観的な側面も、SDGsの達成には不可欠なものです。そこで今回、大阪らしさの象徴である「笑い」と、主観的な「幸せ」や「健康感」などに関するアンケート調査を実施しました。

「笑い」と「幸せ」、「健康感」には相関がある！

アンケートでは、「笑い」、「価値」、「満足度」、「幸せ」、「不安」、「健康感」の6項目について、0から10までの11段階で回答してもらいました。その結果、「笑い」と「幸せ」、「満足度」、「価値」、「健康感」には、それぞれ正の相関がみられました。大阪らしさの象徴である「笑い」を増やすことが、人々の幸せや健康感の改善、ひいてはSDGsの達成につながるかもしれません。

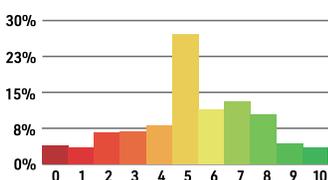
- グラフの見方：このグラフは、各設問に対して回答者に11段階で回答してもらい、その結果を割合で示したものです。



- 相関係数：1に近いほど強い関係があり、0に近いほど関係がありません。

☆ 価値

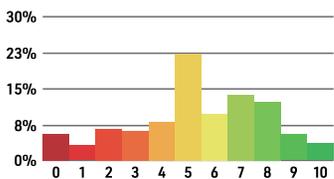
全体として、あなたが取り組んでいることに対してどの程度「価値」を感じていますか



相関係数 0.69

🎯 満足度

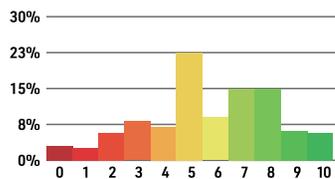
全体として、あなたは自分の人生にどの程度満足していますか



相関係数 0.72

🛡️ 健康感

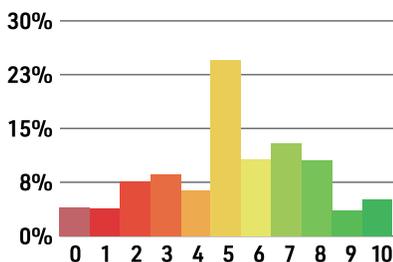
ご自身の現在の健康状態をどのように評価されていますか



相関係数 0.65

😊 笑い

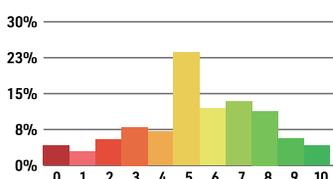
あなたは、この1週間、よく笑いましたか



相関係数 0.07

❤️ 幸せ

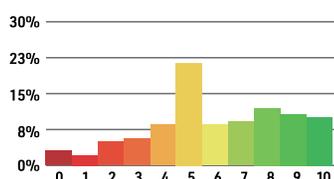
全体として、昨日、どの程度幸せを感じましたか



相関係数 0.77

☁️ 不安

全体として、昨日、どの程度不安を感じましたか



【アンケート調査の概要】

調査方法：民間の調査会社が保有するモニターを対象としたインターネットアンケート調査
 調査対象：国勢調査結果に基づく性・年代・居住地の割合で割り付けた18歳以上の大阪府民1,000人
 実施期間：2025年9月1日～9月4日

はじめに

データから探す

ゴールから探す

Osaka“笑”Indicator? 「笑い」がSDGsにつながる?

大阪府におけるSDGsの取り組み

ターゲット一覧

大阪府におけるSDGsの取組み

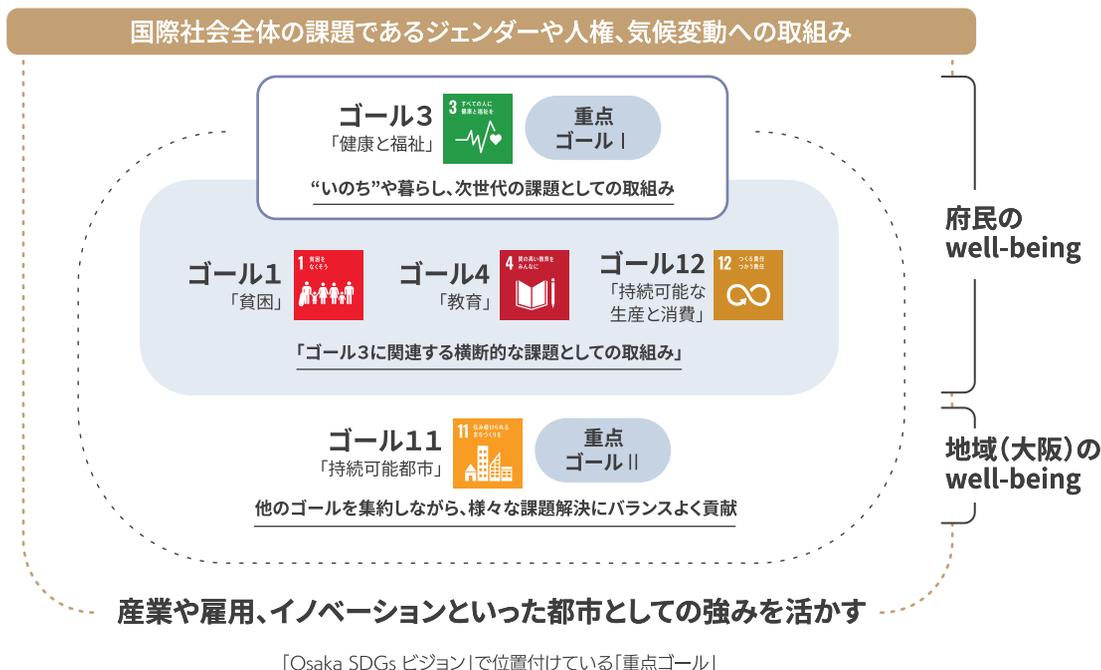
Osaka SDGs ビジョン

Osaka SDGs ビジョンは、2025年大阪・関西万博の開催都市として、世界の先頭に立ってSDGsの達成に貢献する「SDGs先進都市」を実現するため、大阪がめざすSDGs先進都市の姿を明確にし、府民や企業、市町村など、様々なステークホルダーと共有することで、オール大阪でSDGsの新たな取組みの創出を図っていくことを目的に、2020年3月に策定しました。

ビジョンでは、「様々なステークホルダーの取組みを相互につながらせていく」、「府自らもSDGsに貢献する」といっ

た「府の役割」や、万博のレガシーとしてSDGs先進都市を実現していくといった「取組工程」等を示しています。また、ゴールごとの到達点の分析、府民・企業等が重要と考えるゴールの調査等を踏まえ、課題を克服すべきゴールや世界に貢献できるゴールを「重点ゴール」として位置づけています。ビジョンに沿って、2030年に向け、日本全体や世界とのつながりの中で、先頭に立って世界とともにSDGsを達成していきます。

大阪府におけるSDGsの取組み▶



Osaka SDGs Forum

大阪府では、2030年に向け、大阪・関西を中心としたSDGsアクションを加速化させるため、2023年度から「OSAKA SDGs Forum」を開催しています。このフォーラムは、内閣府や国連機関、自治体、企業、NPO、ユース世代など様々なステークホルダーが一堂に会し、国内外におけるSDGsに関する動向のほか、これまでのSDGsアクションから得たノウハウや知見を共有し、参加者同士で学びあえるイベントになっています。

2025年は、大阪・関西万博の会場内で「OSAKA JAPAN SDGs Forum」として開催し、国内外から1,500名以上の方が参加しました。フォーラムでは、国内におけるSDGs研究の第一人者やグローバル企業のトップのほか、ユース世代などが登壇。先進的なアクションやアイデアが共有されるとともに、2030年以降の「SDGs+ beyond」に向けた発信も行いました。

これまでに開催したフォーラムの様子は大阪府ホームページから視聴いただけますのでぜひご覧ください。



OSAKA SDGs Forum▲

「OSAKA JAPAN SDGs Forum」の様子

はじめに

データから探す

ゴールから探す

Osaka “笑” Indicator?
「笑い」がSDGsにつながる?

大阪府におけるSDGsの取組み

ターゲット一覧

ターゲット一覧

はじめに

データから探す

ゴールから探す

「Osaka」がSDGsのIndicator? 「笑」がSDGsにつながる?

大阪府におけるSDGsの取り組み

ターゲット一覧

ここでは、169のターゲットについてゴール別に紹介します。関連する指標のページをあわせて掲載していますので、どのような目標達成に影響しているか、指標とターゲットをあわせて確認してみましょう。

また、同一番号のゴールだけでなく、他のゴールの指標と関連しているターゲットについては、指標名とページ数を付記していますので、こちらもあわせて確認してみてください。

指標とターゲットの連携について

各ゴールの指標（P4～12）には、関連するターゲットをあわせて記載しています。同じゴールの指標でもアプローチするターゲットが違う場合や異なるゴールのターゲットを複合的に解決できる場合等もありますので、ターゲットの内容にもぜひ注目してみてください。

相対的貧困率(%)

関連するターゲット **1.1** **1.2** **1.a** **1.b**
10.2 **10.3**

(例) ゴール1 相対的貧困率

1 貧困をなくそう

関連する指標 P4

 1.1 極度の貧困をなくす	 1.5 環境・経済・社会的災害に対するレジリエンスの構築 人口10万人当たり水災害危険地域の居住者数▶P10
 1.2 貧困を少なくとも半分に	 1.a 貧困を終わらせるための政策実行にむけた資源の総動員
 1.3 社会保護制度を整備する	 1.b 貧困層やジェンダーに配慮した政策の枠組みをつくる
 1.4 所有権、基礎的サービス、技術、経済的資源への平等な権利 水道普及率▶P6 汚水処理人口普及率▶P6 電気を受電可能な人口比率▶P7	

2 飢餓をゼロに

関連する指標 P4

 2.1 安全で栄養のある食料への普遍的アクセス 相対的貧困率▶P4	 2.5 食糧生産における遺伝的多様性の維持
 2.2 あらゆる形態の栄養失調をなくす	 2.a 農業インフラ、農業研究、技術開発、遺伝子バンクへの投資
 2.3 小規模食料生産者の生産性と所得を2倍に	 2.b 農産物の貿易制限・市場のひずみ・輸出補助金の防止
 2.4 持続可能な食料生産システムと強靱な農業の実践	 2.c 安定した食料市場と、市場情報のタイムリーな入手を確保する

3 すべての人に健康と福祉を

関連する指標 P5

	3.1 妊産婦の死亡率を減らす		3.8 すべての人々に対する保健医療サービスの実現
	3.2 5歳未満児のあらゆる予防可能な死亡をなくす		3.9 有害化学物質や汚染による疾病と死亡を減らす
	3.3 感染症と闘う		3.a WHOたばこ規制枠組条約の実施
	3.4 非感染性疾患の死亡率減少と精神保健の促進		3.b 手ごろなワクチンや医薬品の研究開発と普遍的アクセスへの支援
	3.5 薬物乱用の防止と治療		3.c 開発途上国における保健財政の拡大と保健人材の育成支援
	3.6 交通事故による死傷者を減らす		3.d 世界規模の健康リスクに関する早期警告システムの強化
	3.7 性と生殖に関するケア・家族計画・教育への普遍的アクセス		

4 質の高い教育をみんなに

関連する指標 P5

	4.1 初等・中等教育の無償化		4.6 誰もが読み書き力と計算力を身につける
	4.2 質の高い就学前教育への平等なアクセス		4.7 持続可能な開発とグローバル・シチズンシップのための教育
	4.3 手ごろな価格で質の高い技術教育、職業教育、高等教育への平等なアクセス		4.a だれもが利用できる安全な学校の構築・改良
	4.4 経済的自立に必要なスキルを持つ人々を増やす		4.b 開発途上国のための高等教育の奨学金を増やす
	4.5 教育におけるあらゆる差別をなくす		4.c 開発途上国における質の高い教員の数を増やす

5 ジェンダー平等を実現しよう

関連する指標 P6

	5.1 女性および女兒に対する差別をなくす		5.6 生殖に関する健康および権利への普遍的アクセス
	5.2 女性および女兒に対するあらゆる暴力や搾取をなくす		5.a 経済的資源、財産所有、金融サービスに対する平等な権利
	5.3 強制結婚や女性器切除をなくす		5.b 技術の活用による女性のエンパワーメント促進
	5.4 無報酬の育児・介護の評価と、家事労働の責任分担の促進		5.c ジェンダー平等のための政策と拘束力ある法規の導入・強化
	5.5 リーダーシップや意思決定における完全参画の確保		

ターゲット一覧

6 安全な水地トイレを世界中に

関連する指標 P6

 6.1 安全で手ごろな飲み水	 6.5 統合的な水資源管理の実施
 6.2 野外排泄をなくし、下水施設、衛生施設へのアクセスを確保する	 6.6 水に関連する生態系の保護と回復 河川BOD ▶P10
 6.3 水質や排水処理の改善と安全な再利用 河川BOD ▶P10	 6.a 開発途上国における水と衛生確保への支援の拡大
 6.4 水利用効率の改善と淡水供給の確保	 6.b 水と衛生管理における地域参画の支援 河川BOD ▶P10

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

関連する指標 P7

 7.1 現代的エネルギーへの普遍的アクセス	 7.a クリーンエネルギーの研究・技術へのアクセスと投資を促進する
 7.2 世界の再生可能エネルギーの割合を増やす	 7.b 開発途上国におけるエネルギーサービスの拡大、向上
 7.3 エネルギー効率の改善率を2倍に	

8 働きがいも 経済成長も

関連する指標 P7

 8.1 持続的な経済成長率の確保	 8.7 現代の奴隷制、人身売買、児童労働を撲滅する
 8.2 高い経済生産性を実現するための多様化、技術向上、イノベーション	 8.8 労働者の権利の保護と安全な労働環境の促進 外国人労働者の失業率 ▶P8
 8.3 雇用創出や起業を支援する政策の促進	 8.9 有益で持続可能な観光業の促進
 8.4 消費と生産における資源効率の改善 付加価値額百万円当たりCO ₂ 排出量 ▶P8	 8.10 銀行取引、保険、金融サービスへの普遍的アクセス
 8.5 完全雇用と働きがいのある人間らしい仕事を同一労働同一賃金で実現	 8.a 貿易のための援助の拡大
 8.6 若者の就労、就学、職業訓練の促進	 8.b 若年雇用のための世界的戦略の展開

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

関連する指標 P8

 9.1 持続可能で、強靱かつ包摂的なインフラの開発	 9.5 研究開発の強化と産業技術の向上
 9.2 包摂的で持続可能な産業化の促進	 9.a 開発途上国のための持続可能なインフラ開発の促進
 9.3 金融サービスや市場へのアクセス拡大	 9.b 開発途上国における国内技術開発や産業の多様化の支援
 9.4 持続可能性のために、すべての産業とインフラを向上させる	 9.c 情報通信技術への普遍的アクセス

10 人や国の不平等をなくそう

関連する指標 P8

	10.1 所得の不平等を減らす		10.6 国際的な金融制度・金融機関における開発途上国の参加の拡大
	10.2 社会、経済、政治における包摂性の促進 相対的貧困率▶P4		10.7 責任ある、管理の行き届いた移住政策
	10.3 機会均等の確保と差別の廃止 相対的貧困率▶P4 管理的職業のジェンダーパリティ指数▶P6		10.a 開発途上国に対する特別かつ異なる待遇
	10.4 平等を促進する税制、社会政策の導入		10.b 後発開発途上国への開発援助と投資の促進
	10.5 世界金融市場と金融機関に対する規制の改善 財政力指数▶P12		10.c 移住労働者の送金コストの引き下げ

11 住み続けられるまちづくりを

関連する指標 P9

	11.1 安全かつ手ごろな価格の住宅 水道普及率▶P6		11.6 都市による環境負荷を減らす
	11.2 手ごろで持続可能な交通・輸送システム		11.7 安全で包摂的な緑地や公共スペースへのアクセスの提供 森林面積の変化率▶P11
	11.3 包摂的で持続可能な都市化 森林面積の変化率▶P11		11.a 国・地域規模の開発計画の強化
	11.4 世界の文化遺産、自然遺産の保護 森林面積の変化率▶P11		11.b 包摂性、資源効率、災害リスク削減のための政策の実施 人口10万人当たり水災害危険地域の居住者数▶P10
	11.5 自然災害による被害を減らす 人口10万人当たり水災害危険地域の居住者数▶P10		11.c 後発開発途上国における持続可能で強靱な建造物の整備への支援 人口10万人当たり水災害危険地域の居住者数▶P10

12 つくる責任 つかう責任

関連する指標 P9

	12.1 持続可能な消費と生産に関する10年計画枠組みの実施		12.7 持続可能な公共調達の促進
	12.2 天然資源の持続可能な管理と利用		12.8 持続可能なライフスタイルの理解を広く浸透させる
	12.3 世界の一人あたりの食料廃棄を半分に		12.a 開発途上国における持続可能な消費と生産の科学的・技術的能力の支援
	12.4 化学物質、廃棄物の責任ある管理		12.b 持続可能な観光業を測定する手法の開発と導入
	12.5 廃棄物の発生の大幅な削減		12.c 無駄な消費を生み出す市場のひずみを取り除く
	12.6 企業に対し、持続可能な取り組みの導入とサステナビリティ報告を奨励する		

ターゲット一覧

13 気候変動に具体的な対策を

関連する指標 P10



13.1 気候関連災害に対する強靱性と適応力の強化



13.a 気候変動枠組条約(UNFCCC)の実施



13.2 気候変動対策を政策や計画に統合する



13.b 気候変動関連の計画・管理能力を高めるメカニズムの推進



13.3 気候変動に対処できる知識や能力をつける

14 海の豊かさを守ろう

関連する指標 P10



14.1 海洋汚染を減らす



14.6 過剰漁獲につながる補助金を撤廃する



14.2 生態系の保護と修復



14.7 海洋資源(観光利用含む)の持続可能な利用を通じた経済的便益を増やす



14.3 海洋酸性化を減らす



14.a 海洋の健全性のための科学的知識・研究・技術を増やす



14.4 持続可能な漁業



14.b 小規模漁業者への支援



14.5 沿岸域と海域の保全



14.c 国際海洋法の実施

15 陸の豊かさも守ろう

関連する指標 P11



15.1 陸域および淡水生態系の保全と修復



15.7 保護種の密猟および違法取引の撲滅



15.2 森林減少の阻止と劣化した森林の修復



15.8 陸域および海洋生態系への外来種の侵入防止



15.3 砂漠化の阻止と劣化した土地の修復



15.9 行政の計画策定に生態系や生物多様性を組み込む



15.4 山地生態系の保全の確実な実施



15.a 生態系と生物多様性の保全と持続可能な利用のための資金源を増やす



15.5 生物多様性と自然生息地の保護



15.b 持続可能な森林経営のための資金調達とインセンティブの強化



15.6 遺伝資源へのアクセスと便益の公正な配分を推進



15.c 世界の密猟および違法取引への厳しい対処

16 平和と公正をすべての人に

関連する指標 P11

 16.1 あらゆる場所での暴力を減らす	 16.7 対応力があり、包摂的で、代表制に基づく意思決定の確保
 16.2 子どもを虐待、搾取、取引、暴力から守る	 16.8 グローバル・ガバナンスへの参加の強化
 16.3 法の支配を促進し、司法への平等なアクセスを確保する	 16.9 すべての人々への法的身分証明の提供
 16.4 組織犯罪と違法な資金および武器の取引の根絶	 16.10 情報への公共アクセスの確保と基本的自由の保障
 16.5 汚職や賄賂の大幅な削減	 16.a 暴力防止とテロリズム・犯罪撲滅のための国家機関の強化
 16.6 実行力、説明責任、透明性のある公共機関の実現	 16.b 非差別的な法規・政策の推進と実施

17 パートナーシップで目標を達成しよう

関連する指標 P12

 17.1 徴税能力向上のための資源の動員	 17.11 開発途上国による輸出の増加
 17.2 開発援助に対する先進国のコミットメントの完全実施	 17.12 後発開発途上国に対する貿易障壁をなくす
 17.3 開発途上国のための追加的な財源の動員	 17.13 世界的なマクロ経済の安定を促進
 17.4 開発途上国の債務の健全性確保のための支援	 17.14 持続可能な開発のための政策の一貫性を強化する
 17.5 後発開発途上国への投資促進	 17.15 持続可能な開発目標(SDGs)の政策実施における各国リーダーシップの尊重
 17.6 科学技術およびイノベーションに関する知識共有と協力	 17.16 持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップの強化
 17.7 開発途上国への持続可能な技術の促進	 17.17 効果的なパートナーシップの奨励
 17.8 後発開発途上国のための科学技術およびイノベーション能力の強化	 17.18 信頼できるデータの入手可能性を高める
 17.9 開発途上国における持続可能な開発目標(SDGs)実施能力の向上	 17.19 持続可能な開発の進捗を測る尺度の開発推進
 17.10 WTO下での普遍的な貿易体制の促進	

はじめに

データから探す

ゴールから探す

「Osaka」がSDGsにつながる?
「笑い」がSDGsにつながる?

大阪府におけるSDGsの取り組み

ターゲット一覧

大阪でSDGsアクションに取り組む人を後押しする

OSAKA SDGs データブック

大阪府 政策企画部 企画室 連携課

〒540-8570 大阪府中央区大手前2丁目
大阪府庁本館3階

Mail : osaka_SDGs@gbox.pref.osaka.lg.jp

「大阪府におけるSDGsの取組み」はこちら

https://www.pref.osaka.lg.jp/o020050/kikaku_keikaku/sdgs/index.html



本書を許可なく、複製・頒布することを禁じます。本書に掲載されたデータの使用によって生じるいかなる損害にもその責任を負いません。